



小井戸 文恵さん  
 福島県いわき湯本温泉  
 旅館こいと

背が高くスレンダーでモデルさんのようなホテルかずら橋の美人女将の谷口真理さんよりバトンを受けとりました、福島県いわき湯本温泉・旅館こいと的女将、小井戸文恵です。

いわき湯本温泉は、福島県で一番南にあり雪も少なく一年を通して温暖で過ごしやすい地域にあります。奈良時代から続く温泉は硫

黄泉を含め3つの成分が入っている珍しい泉質で、59度の湯が毎分5リットルと湧き出て、美肌効果はもちろん動脈硬化など様々な効能を持ち合わせた自慢の温泉です。

そんな恵まれた湯本温泉が、6年前の東日本大震災により、まさか大きな被害を受けることになろうとは思いませんでした。いつも明るい湯本温泉の



をもつてJ K K  
 全旅連・女性経営者の会  
 リレーコラム  
 Vol.98

女将たちもさすがに落胆を隠せませんでした。が、いつまでもこの疲弊した町のままでいい

動開始、不安で泣いていた女将が気づけばま

のか？と沸々と声上がり、15名ほどの女将たちで「30年、50年後まで湯本温泉を残そう、笑顔がいつぱいの街にしよう」と動き始めました。

まちの魅力の温泉とフラの文化を融合した「フラのまち」を宣言し、自ら「フラ女将」として着物でフラも踊っています。商売開発・イベント開催を興すこ

やるぞ！と決まった。早いのが湯本温泉の女将たち。旦那衆や行政方の心配をよそに活

とは紆余曲折があり難しいこともありましたが結果、皆の絆が深まったことがなにより大

事なことで、これからの未来への大きな一歩となったのではないかと思っています。

困難なこともみんな

で乗り越えることにより楽しい風が吹く「まちづくり」は「人づくり」が大事だと思います。次のステップは町のみなさんを巻き込んでもっと大きな絆を築きたい。そして50年後も湯本温泉が笑顔でありますように、老体に鞭を打って頑張ります(笑)。

次は新潟県の松長由紀子女将へバトンをお渡しします。

## 「フラ女将」奮闘！笑顔のまちづくり